

# 衣

## 中部日本ネーム刺繍業組合

# 手と足を自在に操り 文字や絵を縫い付ける技

### 書体や外国語など無数の文字種

刺繍の歴史はかなり古く、日本には飛鳥時代ころ、仏を刺繍で製作した<sup>しゅうぶつ</sup>繡仏が中国から伝わったとされています。その後、着物や帯、様々な装束に使われるようになります。

背広や作業着などに名前や企業のロゴマークなどを縫い込む技術がネーム刺繍です。明治のころは手縫いで行われていましたが、大正時代ころにヨーロッパから横振ミシンが伝えられました。これは右膝の高さのところについているペダルを操作することで針が横に振れるようになっています。文字の大きさや書体によって線の太さが違うため、太い線を描きたいときは針を大きく振らせます。布に筆かペンで文字を書くように下書きがなくても文字を縫い付けていきます。

この技術を習得するには最低でも5年はかかります。しかもミシン操作だけではなく、行書体や草書体といった様々な書体、国によって異なるアルファベットの形などを覚える必要があります。

### 手作業の刺繍ならではの需要

組合が設立されたのは昭和38年（1963）ころ。背広、学校の運動着、作業服だけでなく、昭和45年（1970）ころからは動物などをあしらったワンポイント刺繍がブームとなり、たくさんの需要がありました。刺繍店もたくさんありましたが、その後コンピュータによる自動刺繍機の登場によって異業種でも容易に参入できるようになりました。いまでは横振ミシンを扱える職人は非常に少なくなっています。

しかし、自動刺繍機は大量製作には向いていますが、数が少ないと刺繍のデータ作成などに費用と時間がかかるため、少量で創造的なものの製作には向きません。しかも、横振ミシンで縫い込んだ刺繍のような立体感が少なく、平板になりがちです。

家族や大切な人のお祝いに、刺繍で飾り物を作ってほしいとの依頼も受けることもあります。また、大学とコラボし、学生のデザインを刺繍にし、それで帽子をつくり職人展で発表するなどの活動を行っています。



足のペダルで針のスピード調整、右ひざで針の振れ幅を調整しながら手を細かく動かし、文字や絵を縫い付けていく



誕生日の記念など絵や名前を刺繍をすれば場所を取らずに素敵な飾りに

■職種：刺繍工 ■組合設立年：昭和38年ころ ■組合住所：名古屋市中区大須1-9-20 たつ美ネーム刺繍内  
■電話番号：052-203-4033 ■ファックス：052-203-8168 ■ホームページ：――